

前途に大きな目標を

医学部長 原田 康 夫

卒業生の皆さんおめでとうございます。

諸君は長い教育期間を終え、これからは自分の力で社会にはばたいて行くのです。今、医療の世界は大きく変貌しているところがあります。これまでに学んだ諸君の知識が数年の間にはぬりかえられるほどのスピードで進歩しています。

諸君が医学部で学んだものは、すべての基礎となるものであり、これから学ぶもの、経験するものが、諸君の道を開いてくれるのです。そのためには、大きな目標をたて、日々精進する心が大切であります。

医学・薬学の世界には人の心をかりたて、情熱をわかせる対象が随所にあります。

かつて結核が多くの人を命を奪い、人々に感染の恐怖を与えたものですが、今では治療が可能となり、それほど恐ろしい病気では

なくなりました。抗生物質の発見は感染症の治療に大きな光明を与えました。同じように癌の治療も大きく進歩してきています。最近まで癌は患部の切除と放射線治療のみで、その治療成績は必ずしもよくありませんでした。しかしここ10年間の診断機器の開発、化学療法の進歩などから5年生存率が著しく改善されてきました。やがて諸君らの時代には癌もそれほどこわくない日が来ると思われます。

医療の世界にはこうしたいという気持ちをかきたてる大きな目標がたくさんあります。また新しい治療法の開発とその利用で病める多くの人たちに希望をあたえることもできるのです。

どうか、諸君は前途に大きな希望と誇りを持ち、世のため人のために生きてほしいと思います。